

1

三学期終業式 式 辞

2

2 年生 (39回生)

1 年生6月から2年生1月まで学習
成果が伸びたかどうか、GTZで確認
してみましょう。

体育館スクリーンに示した半年間の

学習成果を見て確認しよう。

2年生は、88名が1年生6月から成績を
伸ばし、34名が成績を下げています。成績
を伸ばした人が多く、大変良い傾向です。

3

1 年生 (40回生)

1 年生7月から1年生1月まで学習
成果が伸びたかどうか、GTZで確認
してみましょう。

1 年生は、45人が1年生7月から成績を

伸ばしていますが、73名が成績を下げて
おり心配です。

4

GTZ（学習到達ゾーン）

全国におけるあなたの学力の位置をS1～D3の15段階で評価したものの。

GTZは学習の到達度を測るもので、順

位ではありません。

生徒の皆さんにとって大事なことは、他人と比べる順位ではなく、自分をどれだけ伸ばすことができたのかを確認することが大切です。

5

15段階評価	評価	評価の位置づけ
	S1	最難関大レベル
	S2	難関大レベル
	S3	
	A1	難関大可能レベル
	A2	国公立大・中堅私立大レベル
	A3	
	B1	
	B2	国公立大・中堅私立大可能レベル
	B3	
	C1	
	C2	4年制大可能レベル
	C3	実力養成レベル
	D1	基礎力養成レベル
	D2	基礎・基本養成レベル
	D3	

6

一年間を振り返る

皆さんの一年間を振り返ってみてくださ

い。

7

Reflection

自分の考えや行動を客観的に見
つめ直して、気付くこと。

振り返る作業をリフレクションと言いま
す。

リフレクションでは、感情的にならず、客
観的に自分を振り返りことが重要です。例
えば、誰かのせいで勉強できなかった等、
他に責任を持っていくと、自分の責任を考
えることができず正しい気づきを得ること
ができません。

8

自分を伸ばす

皆さんを伸ばすのは、先生でも親でも友
達でもありません。

自分で自分を伸ばさなければならない
のです。

9

自分をどう伸ばす？

認知能力と非認知能力の両方を
伸ばす必要がある。

自分を伸ばすポイントとして、認知能力
と非認知能力があります。

10

認知能力とは

「学力」テストで測定し、指標化できる能力

GTZは指標の一つ

11

非認知能力とは

積極性、粘り強さ、自制心などの
自分に関する力と、協調性、共感する力、思いやり、コミュニケーション力などの人に関わる力。

数値では表せない能力

12

非認知能力が注目されてる

これまで認知能力が注目されてきましたが、非認知能力が進学・就職や将来の年収・マイホーム購入などに影響することがわかってきた。

今まで認知能力（学力）だけが重視されてきましたが、学力だけでは人生を豊かにできないことがわかり、非認知能力の重要性が認識されてきたのです。

13

非認知能力を鍛える

意欲、自制心、忍耐力、協調性、思いやり、計画性、創造性、良いか悪いかを判断する力

部活動・ボランティアなど学校生活で十分に鍛えることができます。

学力のような指標がない非認知能力をどうやって鍛えればいいのでしょうか。

学校生活は非認知能力を鍛える絶好の場なのです。

14

「自分を伸ばす」のは、今しかない

高校時代に自分を伸ばせば、進学・就職してから、もっと色々なことに挑戦することができます。

自分を伸ばすのは、今がその時なのです。

4月から新3年生、新2年生が始まります。自分を伸ばしていきましょう。

15

式辞を終わります。